

令和7年度全国学力・学習状況調査結果 田辺市概要

令和7年4月17日に、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、小学6年生・中学3年生を対象とし、国語と算数／数学、理科から構成されています。県及び田辺市教育委員会では、下記の結果を受け、校長会及び教頭会で県・市全体の傾向と対策を示し、各小中学校では課題を踏まえた取組を進めています。

◇小学校6年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の平均正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○

	国語	算数	理科	国語	県	全 国	算数	県	全 国	理科	県	全 国
田辺市	64	52	54	話すこと・ 聞くこと	▼	○	数と 計算	▼	▼	エネルギー	○	○
和歌山県	68	58	57	書くこと	○	○	図 形	▼	▼	粒 子	▼	▼
全国	66.8	58.0	57.1	読むこと	▼	▼	測 定	▼	▼	生 命	○	▼
							変 化 と 関 係	▼	▼	地 球	▼	▼
							デ ー タ の活用	▼	▼			

国語科では、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができていました。一方で、事実と感想、意見などとの関係について叙述を基に抑え、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することや、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけるという点に課題が見られました。

算数科では、異分母の分数の加法の計算について、正答率が高いという結果でした。しかしながら、目的に応じて適切なグラフを選択し、そこから分かる情報を読み取って判断したり、判断の理由を言葉や数を用いて記述したりすることに課題が見られました。

理科では、花のつくりや受粉についての知識、発芽するために必要な条件を調べる際、実験の条件を制御した解決方法についての理解に課題が見られました。

◇中学3年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の平均正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○

	国語	数学	理科(IRT スコア)	国語	県	全 国	数学	県	全 国
田辺市	50	43	478	話すこと・ 聞くこと	○	▼	数と式	▼	▼
和歌山県	52	45	480	書くこと	○	▼	図 形	○	○
全国	54.3	48.3	503	読むこと	○	▼	関 数	○	▼
							デ ー タ の活用	○	▼

※中学校理科については、調査方法が他教科と異なるため、表には示しておりません。

国語科では、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことはできていました。一方で、書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることについては課題が見られました。

数学科では、一次関数について、変化の割合を基に x の増加量を求める問題で正答率が高く、一方で素数の理解等に課題が見られました。

理科は CBT での実施となりました。加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能は見についているものの、実験の様子と密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる問題に課題が見られました。

■学習状況調査の結果から

◇生活習慣・自己肯定感

(単位：％)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
朝食を毎日食べていますか (「食べている」「だいたい食べている」と答えた割合)	76.6	83.3	78.9	78.7
自分には、よいところがあると思いますか (「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	44.9	47.3	40.9	40.7

子供たちのより良い生活習慣づくりや自己肯定感を高めるため、家庭と連携しながら取り組みます。

◇学校生活に関すること

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合) (単位：％)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
困りごとや不安があると時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	72.1	70.6	69.7	73.2

子供たちが安心して、楽しく学校生活を過ごすことができるように、校内の相談体制づくりを行います。

◇学習に対する興味・関心

(「当てはまる」と答えた割合)

(単位：％)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
国語の勉強は好きですか	23.0	24.1	19.6	21.6
算数(数学)の勉強は好きですか	35.2	33.7	26.0	26.5
理科の勉強は好きですか	51.6	51.7	34.9	30.0

各校において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が行われています。ICTを効果的に活用し、情報収集したり学んだことを表現したりする活動を充実させます。また、話し合い活動では、相手意識や目的意識、理由や根拠の明確化を意識させた授業づくりを実践していきます。

■今後の取組

- ・田辺市教育委員会では、成果のあった学校の取組を分析し、各学校に周知し、広げていきます。
- ・各学校では、調査の分析結果をもとに学力向上のための研修を行い、自校の取組の点検と改善を行います。
- ・各学校では、ICT機器の効果的な活用や図書館教育の充実等を通して、子供たちの意欲や理解につながる授業づくりや学校環境づくりを目指します。